

## 東京 2020 オリンピック 競技大会

7月23日 - 8月8日

開催まであと **52** 日

## 東京 2020 パラリンピック 競技大会

8月24日 - 9月5日

開催まであと **84** 日

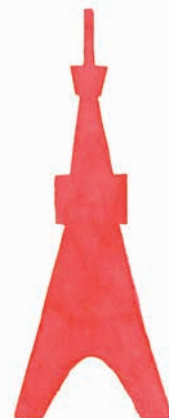
(開催までの日数は6月1日時点)

# もうすぐ東京 2020 オリンピック・パラリンピック

いよいよ来月23日から東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。

1964年に行われた東京オリンピック(第18回オリンピック競技大会)は、10月10日、国立競技場で行われた開会式で幕を開けました。アジア初のオリンピックは、20競技163種目に、93の国と地域から5,152人が参加。大会に合わせて東京には首都高速道路や東海道新幹線が開通。都市機能が飛躍的に発展するとともに、日本は高度経済成長のきっかけを得て、世界に向けて戦後の復興をアピールしました。

それから57年後の今大会…これからどんな未来が待っているのでしょうか。



### ■オリンピック・パラリンピック

オリンピックとは、4年に1度開催される世界的なスポーツの祭典です。スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的とし、夏季大会と冬季大会を行っています。

パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典です。4年に1度、オリンピック競技大会の終了後に同じ場所で開催されています。

### ■東京 2020 大会

競技数は、オリンピック史上最多の33競技・339種目、パラリンピックは22競技・539種目あります。

“スポーツには世界と未来を変える力がある”を大会ビジョン掲げ「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を基本コンセプトとして、大会のあらゆる場面に反映しています。

### ■聖火リレー

ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、関心と期待を呼び起こす役目を持っています。

### ■東京 2020 大会と被災地復興

スポーツには「夢」、「希望」、「絆」を生み出す力があります。

2011年に発生した東日本大震災からの復興の過程においても、スポーツが子供たちを笑顔にする一助となってきました。

東京2020大会が復興の後押しとなるよう、スポーツの力で被災地の方々の「心の復興」も目指します。

# 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 聖火リレートーチが展示されました



## 聖火リレートーチについて

日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしています。素材の一部には東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用していて、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。

重さは約 1kg。



オリンピックトーチ  
(桜ゴールド)



パラリンピックトーチ  
(桜ピンク)

**4**月15・16日、石岡市役所1階メロディアスホールにてオリンピックトーチ・パラリンピックトーチの展示が行われ、2日間でおおよそ1,200人が見物に訪れました。入口では体温測定と消毒、密にならないよう入場制限を設けるなど、感染症対策を徹底して行われました。

来庁者からは「本物を間近で見ることができて貴重な経験だった」「桜の形をしていて、色がとても綺麗だった」「オリンピックトーチとパラリンピックトーチの色が違うことを初めて知った」などの感想が聞かれました。

今回の催しは、県内全市町村を各1～2日間ずつ、約3か月かけて巡回展示するもので、7月1日の水戸市まで続きます。

**東京 2020 オリンピック  
聖火リレートーチツアー in IBARAKI**

日程はこちらから▶



# 市内在住の聖火ランナー 踊正太郎さん、潮田修平さんにインタビュー



茨城県聖火リレー日程

7月4日(日)～5日(月)

詳しいスケジュール  
やルートについては  
こちらから▶



※聖火リレーの観覧については、3密の回避や拍手での応援など新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

## どんな状況でも最高のパフォーマンスを

聖火ランナーとして選ばれたことを光栄に思います。世界的なスポーツの祭典に参加できることは、文化芸術の世界で活動する私にとって最大の喜びと未来への希望です。どんな状況でも不屈の精神で最高のパフォーマンスを発揮することを教えてくれた亡き祖母に、感謝の意を込めて聖火をつなぎます。世界が一つになる瞬間を楽しみにしています。日本人、茨城県人として世界中の人々を最高のおもてなしで歓迎したいです。

## 世界中の平和を願って

東京2020大会のコンセプトである「多様性と調和」に共感し、聖火リレーを走ることになりました。差別や偏見なく、すべての人に優しい街づくりの促進と心のバリアフリーを、そして、世界中が常に平和であることを切に願います。どんな障がい、どんな病気であっても、みんな輝いています。希望は勇気なり！出口のないトンネルはないと信じています。未来を一緒に走りましょう。



踊正太郎さん(44)

石岡市出身。津軽三味線演奏家。生まれつき視力がなく、舞踊教授の祖母の影響で6歳から津軽三味線を学ぶ。2017年から石岡市ふるさと大使。



潮田修平さん(37)

石岡市細谷在住。両親、弟、妻と子の6人暮らし。土浦市の知的障害者施設でケアマネージャーとして勤務。聖火リレーでは、7月4日(日)に鹿嶋市を走る予定。

## 希望をくれた聖火リレー

私たち夫婦には、第1子の娘がいたのですが、18トリソミーという病気で生後1か月で亡くなりました。「父親としてなにもできなかった」という思いがあり、天国にいる娘が見守ってくれるような気がして、聖火リレーのランナーに応募しました。2019年12月、当選の連絡と同じくらいのタイミングで妻が第2子の息子を妊娠していることがわかり、なにか縁のようなものを感じました。聖火リレーを走ること、今現在、あの時の自分と同じように辛い思いをしている方に『幸運なことがいづれあるかもしれない、希望を捨てず、生きていてもらいたい』というメッセージを伝えたいです。

## 世界中の人が手を取り支え合える社会に

私の仕事柄、オリンピックのコンセプトである多様性と調和はいつも大切にしています。世界中の国と地域で、文化や宗教の違いがある中、多様な人々が手を取り合って支え合える社会となるきっかけの大会になればと思います。



国際的な平和の祭典

# TOKYO 2020

外国人との交流を通して国際理解を深めよう

## 日本語教室を取材しました！

市内の国際交流団体「フレンドシップいしおか」・「グローバルハーツ」が開催している日本語教室にお邪魔して、日本語を学ぶ生徒の皆さんや教える側の皆さんが考えていることについてお伺いしました。



### 「グローバルハーツ」で日本語を学んでいるトムさん

7年前に来日し、現在は市内の中学校で英語を教えています。昨今の状況により、昨年は帰国することができず、オンラインで父の90歳の誕生日を祝いました。オンラインで顔は見られても、やはり対面とは違うと感じました。

「グローバルハーツ」の皆さんはとても親切で優しく、この場があることに感謝しています。多くの人にこの場を知ってもらいたいと思います。



### 「フレンドシップいしおか」で日本語を教えている坂野さん

私は元々、海外旅行が好きで、言語が通じない大変さは実感していました。なので、少しでも日本に来て苦労している人の手助けになれば、と思い10年前から参加しています。ほとんど話せなかった方と、日本語でコミュニケーションを取れるようになることが一番の喜びです。できるだけ聞かれたことにはその場で答えられるよう、自分でも日々勉強しながら教えています。

日本語教室のご案内  
Japanese Language Class



国府地区公民館で開催中！

※場所が変更になる可能性があります。

## ■フレンドシップいしおか

日時：①昼クラス 毎週水曜日 午前10時～12時  
第1・3日曜日 午後1時～3時30分  
②夜クラス 毎週火曜日 午後7時～9時

スタッフさんから一言：日本語を教える以外にも、日々の困りごとにもできる限り対応しています。身近に困っている外国人がいたら、ご紹介ください。

連絡先：小松崎一枝 ✉ [babkazue@yahoo.co.jp](mailto:babkazue@yahoo.co.jp)



## ■グローバルハーツ

日時：毎週金曜日 午後7時～9時

スタッフさんから一言：生活習慣や言葉の違いなどで心細さや不安を感じている外国人の皆さんに、教室の中やイベントを通して、思い出を共有し、日本での生活を楽しくしてもらいたいと思っています。

連絡先：武井純子 ✉ [junkosatoriza25@yahoo.co.jp](mailto:junkosatoriza25@yahoo.co.jp)

